



当 日 は 浪 板 地 区 仮 設 住 宅 巡 回 バ ス を 運 行 し ま す。

奈奈子祭

花の陣

平成26年

12月
21日

日曜 午前11時~3時

チンドン寺町一座

神ノ沢鹿踊

鹿頭後方の白い房が印象的な釜石市鵜住居町の鹿踊は、約300年前に房州（千葉県南部）から伝わったといわれ、三陸沿岸でもとりわけ長い伝統を誇っている。旧鵜住居村の祭典では必ず上演され、精神的支柱になっている。

出・演・団・体

長安寺太鼓

陸中弁天虎舞

寛保2年(1742)に(現)大船渡市町長安寺に太鼓堂が建立されたのを淵源に、1972年に保存会が発足。単に大きな音で打ち鳴らすではなく、様式を重んじ丁寧で折目正しい演奏は必見。

年行司支配太神樂

1974年に岩手県大槌町赤浜に結成された「赤浜虎舞」を前身とし、大槌湾に浮かぶ蓬莱島への奉納を期に「陸中弁天虎舞」と改称。岩場で踊る勇壮さで有名。壊滅的な津波災害から見事に復活、地域に元気をもたらす。

雁舞道七福神

釜石市に本拠を置き、元禄12年(1699)に盛岡藩七軒丁から伊勢太神樂を受け継ぐ、芸能史的に極めて貴重な太神樂。その格式によって県内で唯一無二の伊勢神宮遷宮の公式参拝を続けている貴徳に満ちた団体。岩手県指定無形民俗文化財

スケジュール

午前11時	奈奈子の挨拶
午前11時	チンドン寺町一座
午前11時20分	長安寺太鼓
午前11時40分	神ノ沢鹿踊
午後0時	陸中弁天虎舞
午後0時20分	昼食
午後1時20分	鵜鳥神樂
午後1時50分	南部藩壽松太神樂
午後2時10分	岳神樂
午後2時50分	雁舞道七福神
午後2時50分	実行委員長の挨拶

三陸花ホテルはまざく
入場
会場
岩手県大槌町浪板海岸
電話
0193・44・2111

東日本大震災により壊滅状態になつた釜石市の鵜住居地区にて、被災した芸能団体の発表の場を作ることによつて、市内各所の仮設住宅に離ればなれになった地区住民のコミュニティを再建したい。こうした思いから企画され、发声者の名前をとつて2013年2月24日に箱崎町白浜にて開催された「奈奈子祭」郷土芸能で復興サポート！」は、各方面に反響を呼び、2013年7月27日に釜石市根浜の宝来館にて「奈奈子祭～夏の陣～」、2013年12月7日に大槌町浪板の三陸花ホテルはまざくにて「奈奈子祭～冬の陣～」を開催することができました。そして2014年12月21日、奈奈子祭が約1年ぶりに戻つてきました。今回の「奈奈子祭～花の陣～」は従来の趣旨を一層発展させながらも、前回に数多くの方々に集まつていただいた大槌町浪板の三陸花ホテルはまざくに根ざして、地元の方々はもちろん、観光客にも参加してもらうという新しい環境の中で、郷土芸能を通した三陸沿岸部の持続的な復興を祈念いたします。